

CapeOX+Tmab

対象

HER2過剰発現が確認された進行・再発の胃癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	オキサリプラチン	130 mg/m ²	点滴静注	120分	day1
2	トラスツズマブ	初回:8mg/kg	点滴静注	90分	day1
		2回目以降:6mg/kg	点滴静注	60分	
内服	カペシタビン	2000mg/m ² /日	経口	1日2回	day1-14 (day1夕~day15朝)
1コース期間		21day			
総コース数		特に規定せず。			
コース間での休薬の規定		第2コース目以降、血液毒性がGrade3以上の場合、もしくは非血液毒性がGrade2以上であれば休薬する。 Grade1以下に軽快後、以下の投与基準に従って投与再開する。			
投与量の増量規定		特に規定せず。			
減量規定・中止基準		<p>【同一サイクル内のカペシタビンの休薬規準/投与再開規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非血液毒性がGrade2以上で続いている場合や、1,000/mm³未満の好中球減少、もしくは75,000/mm³未満の血小板減少がある場合、その副作用が回復するまで治療を延期する。 ・Grade 4 好中球減少(500/mm³未満)、またはGrade 3以上の血小板減少(50,000/mm³未満)が生じた場合には次のコースで、化学療法投与量を25%減量する。 ・Grade 2もしくは3の神経毒性が生じた場合には、次のコースでオキサリプラチンをそれぞれ25%, 50%減量する。 ・EF値<50%の場合はトラスツズマブは一旦休薬する。 			
コースによる変化		特に規定せず。			
投与間隔の短縮規定		特に規定せず。			
2コース目以降の投与開始基		PS0-2 好中球数:1,500/ μ L以上 血小板:100,000/ μ L以上 血清ビリルビン \leq 施設基準値 \times 1.5 AST \leq 施設基準値 \times 2.5 ALT \leq 施設基準値 \times 2.5 アルカリホスファターゼ \leq 施設基準値 \times 2.5 Ccr:41mL/min以上			
注意すべき副作用		トラスツズマブ :インフュージョンリアクション(アナフィラキシー様症状、呼吸困難など) オキサリプラチン :末梢神経障害、悪心・嘔吐、食欲不振、腎機能障害、白血球減少症、好中球減少症、血小板減少症など カペシタビン :手足症候群、下痢、好中球減少症、血小板減少症など			

